

# 文部科学省における宇宙分野の取組

平成25年度概算要求額:1,875億円  
(平成24年度予算額 :1,728億円)

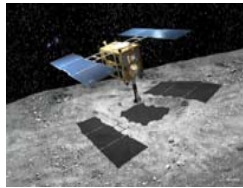
資料3-2  
科学技術・学術審議会  
研究・学術開発利用部会  
(第3回)H24.9.13

## 1. 先端科学技術への挑戦

H25年度概算要求額：301億円

### ●小惑星探査機「はやぶさ2」 H25 要求額 114億円

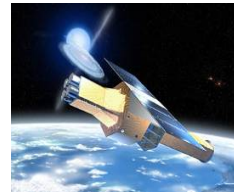
日本が先頭に立つ小惑星探査の分野で、日本の独自性と優位性を維持・発展させ、惑星科学及び太陽系探査技術の進展を図る。



小惑星探査機「はやぶさ2」

### ●X線天文衛星(ASTRO-H) H25要求額 37億円

世界最高性能のX線超精密分光により観測を行い、ブラックホールの進化の解明等に貢献。



X線天文衛星(ASTRO-H)

### ●イプシロンロケット H25要求額 82億円

小型衛星打上げ需要に機動的かつ効率的に対応するため、我が国が培ってきた世界最高水準の固体ロケットシステム技術を基に開発を推進。



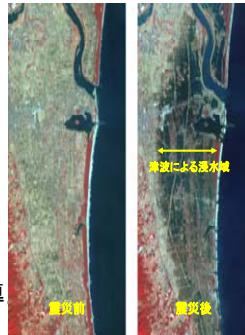
イプシロンロケット

## 2. 高度な技術力に基づく宇宙開発利用の推進

H25年度概算要求額：420億円

### ○陸域観測技術衛星(ALOS-2) H25要求額 146億円

災害時の状況把握、地殻変動の予測・監視、国土情報の蓄積等に資する陸域観測技術衛星「だいち」後継機の研究開発を行う。



ALOSIによる東日本大震災前後の画像(宮城県名取市付近)

### ○地球規模の環境問題解決に貢献する地球観測衛星 H25要求額 153億円

人工衛星により、気候変動の予測・解析の前提となる温室効果ガス、植生、水循環等を広域、迅速、正確に把握し、世界の環境監視を先導

- ・温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)  
【JAXA/環境省/国立環境研究所共同開発】
- ・水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W)
- ・気候変動観測衛星(GCOM-C)
- ・全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)  
【JAXA/情報通信研究機構(NICT)/NASA共同開発】
- ・雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)  
【JAXA/NICT/欧州宇宙機関(ESA)共同開発】

## 4. 宇宙技術基盤の維持・強化

H25年度概算要求額：451億円

### ○ロケット・衛星に係る信頼性向上

H25要求額 71億円

### ○基幹システムの維持等

H25要求額 163億円

### ○筑波宇宙センター等の研究施設の整備・維持関連経費

H25要求額 132億円

種子島宇宙センター  
打上げ射場



筑波宇宙センター



## 3. 宇宙先進国としての国際協力の推進

H25年度概算要求額：395億円

### ○宇宙ステーション補給機「こうのとり」 H25要求額 244億円

国際宇宙ステーションに大型貨物を運ぶ補給機「こうのとり」の着実な打上げを通じて、我が国の国際的な責務を果たすとともに、宇宙産業のアンカーテナントとしても貢献。



HTV「こうのとり」

### ○国際宇宙ステーション「きぼう」の運用・科学研究

H25要求額 141億円

国際水準の有人宇宙技術の獲得・蓄積や、科学的知見の獲得、科学技術外交への貢献等に向け「きぼう」の運用を行うとともに、日本人宇宙飛行士の養成・訓練や国際協力による成果の創出等を推進。



日本実験棟「きぼう」

### ○国際協力の戦略的推進

H25要求額 6億円

センテネルアジアや国際災害チャータ等の災害監視の枠組みへの貢献に取り組むとともに、アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)を活用し、アジア地域の宇宙開発利用の裾野拡大や能力開発・人材育成等の国際協力に係る取組を推進。